

施策名：青少年の健全育成

事業名	担当課・室名	ページ
大分県少年の船運航事業	私学振興・青少年課	2 / 4
青少年自立支援対策推進事業	私学振興・青少年課	3 / 4
おおいた子ども読書活動推進事業	社会教育課	4 / 4

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	大分県少年の船運航事業		事業期間	昭和 55 年度～平成 年度	政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
					施策区分	青少年の健全育成
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	私学振興・青少年課	評価者	私学振興・青少年課長 徳野 満

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	青少年の日常生活における実体験不足等が指摘される中で、青少年の豊かな心をはぐくむため体験活動の機会の確保が求められている。	事業の目的	少年の船運航事業に要する経費への補助を行い、体験活動プログラムを通して参加者の規範・社会性への意識の醸成、ひいては心身ともにたくましい青少年の育成を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①少年の船運航事業への補助 少年の船運航事業(船内研修・環境教育・平和教育など)に要する経費の一部を補助(参加者数609人)		総コスト	56,697	56,507	54,968
		事業費	48,697	48,507	46,968
		(うち一般財源)	43,035	42,875	41,336
		人件費	8,000	8,000	8,000
		職員数(人)	0.80	0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
乗船応募者数(小学生：人)	目標値		304	304	258		a	<ul style="list-style-type: none"> ・班長(高校生)が担当する団員数の適正化による研修効果の向上 ・様々な課題を持つ団員(小学生)への適切な対応能力の向上 ・小学生(団員)の自主的学習・活動の一層の充実 ・青少年育成指導者の養成・確保 ※高校生班長が小学生団員に対して目が行き届き、効果的な研修を実施するため、班編制の見直し(団員数の適正化)により、乗船応募者数(目標値)を減員
	実績値		571	456				
	達成率		187.8%	150.0%				
乗船者数(人)	目標値		620	620	550			
	実績値		611	609				
	達成率		98.5%	98.2%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
乗船したリーダー数[累計](人)	目標値		204	205	212		a	県内各地から参加した小学生は、家族と離れて宿泊・集団活動や異年齢交流、環境・平和学習等を通じて、協調性やコミュニケーション力、自己肯定感・自己有用感が育まれている。また、リーダーがスタッフとして乗船し小中高校生を統率して、降船後も各地域や青少年団体等においてリーダー的役割を担い、地域づくりや青少年健全育成に取り組むなど地域活性化にも寄与している。
	実績値		203	209				
	達成率		99.5%	102.0%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・班編制の見直し(28班→40班)による高校生班長の増員、班長の担当小学生団員数の適正化(1班あたり約18名→約10名)による効果的な研修
- ・様々な研修内容の充実(集団になじめない子ども等への対応についての専門的・実践的研修の実施、外部講師の活用など)により、更に研修効果を向上
- ・乗船経験で得た知識・技術・人間関係等を少年の船以外(地域・職場・学校等)で生かすため、降船後にリーダー・班長(少年の船0B・0Gを含む)フォローアップ交流会を開催
- ・乗船前と降船後に、班長・副班長・団員の意識の変化についてアンケート調査を行い、調査結果を検証・分析し、より効果的な研修内容を検討

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	青少年自立支援対策推進事業	事業期間	平成19年度～平成	年度	政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	私学振興・青少年課	施策区分	青少年の健全育成
					評価者	私学振興・青少年課長 徳野 満

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	インターネットなどの情報通信技術の進展、非正規雇用をはじめとする経済・雇用環境の急激な変容など、青少年を取り巻く社会環境の変化になじめない若者への支援が課題となっている。	事業の目的	ニート・ひきこもりなどの問題を抱える青少年やその保護者などを対象に総合相談を実施し、支援団体・機関につなぐことで、青少年が社会と接する機会を提供する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①おおいた青少年総合相談所の運営 青少年の相談・支援を行う3機関を1か所に集約して開設した「おおいた青少年総合相談所」を運営(H26～) ②青少年自立支援センターの運営 おおいた青少年総合相談所内で青少年自立支援センターを運営し青少年及びその保護者などへの総合相談を実施 委託先：社会福祉法人 清浄園	・課題を抱える青少年の自立を支援するため、相談機能に加え、青少年の居場所・活動場所として有効活用できるよう青少年総合相談所の支援スペースを拡充	総コスト		30,352	23,456	25,814	
		事業費		25,352	18,456	20,814	
		(うち一般財源)		14,291	8,554	9,639	
		人件費		5,000	5,000	5,000	
		職員数(人)		0.50	0.50	0.50	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	連携先支援機関・団体数(団体)	目標値	50	50	51			
	実績値	47	50					
	達成率	94.0%	100.0%					
青少年自立支援センターの周知・広報件数(件)	目標値	110	115	120				
	実績値	106	115					
	達成率	96.4%	100.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	青少年自立支援センター相談件数(件)	目標値	1,150	1,060	1,070			
	実績値	1,761	1,149					
	達成率	153.1%	108.4%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・ひきこもりや不登校で相談に来られない青少年や家族に対する支援(訪問支援等)を充実し、高等学校等教育機関との情報共有・連携強化及びNPOとの協働事業(親支援)を推進
- ・生活困窮者支援法施行(H27.4)により福祉事務所設置自治体が行き組む自立相談支援事業(必須事業)の市町村自立相談支援窓口の積極的な利用を促進
- ・おおいた青少年総合相談所運営事業(3ヶ年事業)がH28年度に終了するため、事業効果を検証のうえ課題解決に向け、内閣府モデル事業を踏まえて平成29年度以降の新たな事業展開を検討

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	おおいた子ども読書活動推進事業		事業期間	平成 21 年度～平成 27 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
						施策区分	青少年の健全育成
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	社会教育課		評価者	社会教育課長 曾根崎 靖

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	依然として学校段階が進むにつれて子どもの読書離れが進む傾向が続いており、学校・家庭・地域の連携による子どもの読書環境の整備等について地域間での格差も見られる。また、学校図書館関係者、公立図書館関係者、読書ボランティア等の情報共有の場が不足している。	事業の目的	全県的な子どもの読書活動推進のために、学校図書館関係者、公立図書館関係者、読書ボランティア等の情報共有を促進し、子どもの読書習慣の形成を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①子ども読書活動普及啓発事業 高校生ビブリオバトル大会の実施(発表37人、参加197人) ネットワークフォーラムの開催(195人) 大分県子ども読書活動コンクールの実施(応募22点)	②子どもたちの読書をささえる人を育む事業 児童サービス担当司書研修(2回、62人)	・高校生ビブリオバトル大会を学校図書館協議会と共催		総コスト	10,133	9,492	
				事業費	1,433	792	
				(うち一般財源)	1,433	792	
				人件費	8,700	8,700	
				職員数(人)	0.87	0.87	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題
	子どもと本をつなぐネットワークフォーラムの参加者(人)	目標値		120	140			
	実績値		140	195		195		
	達成率		116.7%	139.3%		139.3%		
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果
	県立図書館における14歳以下県民1人あたりの児童書貸出冊数(冊)	目標値		1.606	1.608			
	実績値		1.834	1.752		1.752		
	達成率		114.2%	109.0%		109.0%		

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・子ども読書活動関係者が連携し、主体的に読書に親しむ子どもを育成する「読書だいすき大分っ子育成事業」を28年度から実施 ・不読率の高い中学生・高校生の読書活動活性化のため、ビブリオバトル大会の対象を中学生にも拡大				